岩切　美奈　先生

略歴

2014年 3 月　九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科 卒業
2014年 4 月　有限会社エイチ・エムズコレクション 入社
2017年 4 月　医療法人社団有夢会おはらデンタルクリニック 入社
2019年 1 月　ジャスミン歯科クリニック 入社
2019年 5 月　九州歯科大学東京都同窓会 理事（福利厚生）
　　九州歯科大学同窓会関東地区連合会 関東女子会実行委員

あったらいいな！の開発秘話と歯科衛生士業務での口腔衛生商品

有限会社エイチ・エムズコレクション
岩切　美奈

平成28年度の厚生労働省による歯科疾患実態調査によると，デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯間清掃用具を使用している人は全体の約30％という結果が出ています。歯ブラシのみの清掃よりも歯間清掃用具を使用した方が，プラーク除去率が上がり歯周病のリスクが下がることは私達歯科医療従事者のみならず，多くの生活者が知っていると思われます。しかし，歯間清掃用具使用率30％は，高いとは言えません。

実際に臨床現場でも，丁寧にTBIをしても歯間ブラシの使用が習慣化しない人が居ます。なぜ習慣化しないのかヒアリングをしていくと，「ワイヤーが引っかかって挿入できない」「歯ぐきから血が出るのが嫌だ」等のお声をいただきます。そういった方には，道具を変えてゴムタイプの歯間ブラシをオススメするようにしています。セルフケアで大切な事は，習慣化することです。気持ちが良く無ければ続けてくれません。

歯科衛生士学校の教科書にワイヤータイプの歯間ブラシは載っていますが，ゴムタイプ歯間ブラシの掲載はありません。しかし，歯間ブラシの市場金額シェアでいうとゴムタイプは半数近くを占めており，私達も生活者の視点を知ることが必要とされています。

今回のセミナーでは，日本で初めてゴムタイプ歯間ブラシを発売したパイオニアである小林製薬株式会社の“やわらか歯間ブラシ”の開発秘話，そして実際に生活者や歯科医療従事者に使用していただきどう感じたのかを調査し，それに付随して使用している口腔衛生商品やどのようなものを求めているかについてお話します。歯垢が取れないなどのネガティブなイメージにとらわれず，それを超えた使いやすさや使用感の心地よさで生活者は商品を選び，歯間清掃を習慣化させています。少しでも，明日からの臨床現場での患者さんとの会話のヒントになれば幸いです。